

I 以下の文を読み、それぞれの問いに答えなさい。

持って帰りたくなる音、というものがある。

音はかたちをもたない。耳に届いた瞬間に消えてしまう儂いもの。わかっているけれど、たとえようもなく美しい、あるいは生き生きとした音を聴いたとき、いままでとはまったく違った風景が眼前に広がり、世界の見え方が一変したような気がして、この景色を大判の写真に写し、手にくんで持って帰れたら、と願ってしまう。

この感覚を薄れさせない方法があれば、と心から思う。なんとかして、その光景を記憶に刻み、とどめておこうと、目を閉じ、けれど、目を開けた瞬間、心の眼に見えていたはずの風景は、思いとはうらはらに、私の小さな身体を通過して、大気中へと飛び立ってしまう。

◇ ◇ ◇

◇ 私にとって、花火の音は夜空の響きであり、その反響は夜空の広さそのものである*。

*三宮麻由子「音をたずね」『文藝春秋』2008年「84頁」。

エッセイストの三宮麻由子さんをどうしても紹介したいと、友人から一冊の本を預かったとき、かすかに気後れのようなものを感じた。三宮さんの著作を読んだことがなかったし、調べてみると、全盲（三宮さんはscenellessと表現する）にもかかわらず仏語堪能、ピアノも音大をめざしたほどの腕前で、現在は外資系通信社に勤務という。周囲にも何人か彼女の文章のファンがいて、それがまた気後れを増大させた。

まずは読んでみよう、と、渡された本を少しづつ読みすすめた。さまざまな音をめぐる体験エッセイといった趣で、とても軽やかで楽しい本だったが、仕事の合間や、混雑する電車の中で、あるいは寝る前のほんのひととき、数ページずつ読むのがやつの亀の歩みだった。

本を読むのは速いほうではないという自覚はあるが、それにしてもなぜこんなに時間がかかるのか――。おそらく、仕事で扱っている音楽の専門書や普段よく読む研究書や新書のたぐいは、どちらかといえば表現は二の次で意味がつかめればいから、記述の要点を飛び飛びにたどっていてもそれなりに読みこなすことができる。地図を見て、世界の地理的なあらましをハ²アクするようなものだ。けれど、エッセイというのは、著者といっしょに連れ立って道を歩くように、一文字一文字を踏みしめながら、足裏から伝わってくる感触を味わうようなものなのだろう。しぜん、一文を読むのに、一ページを読むのにかかる時間がちがってくる。

そんなふうにして、著者に手を引かれてよちよちと歩いてきたわたしにとって、周囲の景色が一変したのは、さきに引いた一文を読んだときだ。長岡まつり大花火大会について書かれた「空を聞く」という章。花火の音といえば、どーんという大音響と腹に響くような振動を思い浮かべただけだったわたしにとって、「夜空の響き」ということばの連なりは、大げさかもしれないが、これまでまったく知らなかった世界への扉だった。

このひとは、音をとおして世界を見ているのだ、と悟った。よく言われるように、全盲の方は聴覚がすぐれている、というような意味ではない。このひとにとっては、音すなわち景色なのだ。視覚が喪^{うしな}われているというよりも、聴覚と視覚とが、目の見える者には想像のつかないような仕方^②で一体となって、世界を聴いて、見ているのではないか。

この一文を読んだ瞬間――それはほんとうに一瞬のことだった――、三宮さんが音をとおして世界を認識するそのフィーリングが、まるごと自分に手渡された気がした。それからは、なんだか初めて自転車に乗れるようになった子どもさながら、いままで何に苦勞していたのかわからないほど、急に読むスピードが上がった。

◇ 無数の音色と音程の風鈴が、何の法則性ももっていないようにでいて、実は風が醸し出す自然の拍の法則に従って波打ち、音を立^{*}てている。

*三宮：前掲書、136頁。

聴覚と視覚の融合というだけではなく、三宮さんの表現からは、音の手触りや匂いまでも感じられるようだ。彼女は音を具体的にかたちあるモノとしてつかみとり、そのまま読者に手渡してくれる。わたしたちは手渡された音のかたちを確かめ、心の奥底まで持つて帰ることができる。こういうふう^①に聴けば、音はわたしたちの身体を素通りして霧散してしまうことなどなく、いつでも心の中から取り出して確かめることのできる存在になるのだ、と深く安堵する。

これまでのわたしの聴き方は、それにくらべてどんなに A だっただろう。自分は音と音との連なりを、地図上の丸印と丸印を結んだ鉄道路線のように見えてはいなかっただろうか。この曲は良いけどこの曲はいまひとつと等高線を引くように区別してはいなかっただろうか。あるいは数多くの楽曲を、四色あればどんな国でも塗り分けられるとでもいうように、赤や黄色や緑や青で塗りつぶされた枠内に押し込めて満足してはいなかっただろうか。地図記号の読み方にはセイツウ^③し、世界を俯瞰して支配しているような気にはなれたけれど、いつしか外へ出て歩いたり、花を摘んだり、川のせせらぎに手を浸したりする感覚を忘れ、方向感覚を喪って、Googleマップを見なければ家に帰ることもできなくなってしまったのではないだろうか。

◇ ◇ ◇

● 本を読み終わったことを友人に伝えると、彼女はすぐさま三宮さんとの会食をセッティングしてくれた。待ち合わせ場所に現れた三宮さんは、想像していたよりも小柄で、しかし想像していたとおりに明るく、快活なひとだった。

友人が腕を差し出すと三宮さんが手をかけ、二人は歩きます。それを見ながら、少し遅れてついていく。足元のちょっとした段差も気になる。エスカレーターの縁に杖が引つかかるのではないかとひやひやする。三宮さんは、注意深く歩きながらも軽やかに話し、笑い、わたしのことばに耳をかたむける。駅の改札から駅前のビルの二階のレストランまで、おそらくたった二分ほどだっただろうか。その行程は、地図に示された点から点への移動ではなく、彼女が足の裏や杖の先で感じているであろう感覚を、自分の感覚として感じながらの「道行」だった。

楽しかった会食を終えて、彼女を駅に近いマンションまで送り、友人と二人で帰途についたときも、わたしは自分がいまだに、からだ全体で、地面の凹凸や階段までの距離、エスカレーターのステップの幅を気にしていることに気づいた。三宮さんといっしょに歩いただけで——介添をしたわけではない、後について歩いただけなのに——、まるで細胞がより細くなり、感覚の解像度が上がったかのようなのだ。

「ひとの身になる」とはこういうことかと思った。他者の立場に身をおいてみる——表現としてはまちがっていないだろうが、どことなく⁵ガイネン的に流れるきらいがある。自分がそなえている五感をより細やかにすること、その五感がとらえた感覚により集中すること。そして、感覚の対象をできるかぎり記号的に処理せず、具体的なものとしてそのつど新鮮にうけとめること。それがその夜の帰り途で、わたしが知らずおこなっていたことだった。

(木村元『音楽が本になるとき 聴くこと・読むこと・語らうこと』より)

問1 傍線1～5のうち、カタカナで示されていることばは漢字で、漢字はひらがなで答えなさい。

- 1 趣 2 ハアク 3 セイツウ 4 帰途 5 ガイネン

問2 傍線部①「大気中へと飛び立ってしまう」と同じ意味で使われている語句を文中より二文字で書き抜きなさい。

問3 傍線部②「世界を聴いて、見ている」を言い換えている箇所を文中から八文字で書き抜きなさい。

問4 空欄部Aに入る語句として最も適切なものを次の1～4のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 体外的 2 表面的 3 体面的 4 本来的

問5 次の項目のうち、本文の内容に合致するものに○、合致しないものに×をつけなさい。

- 1 著者は、三宮さんは花火の音から夜空の大きさを感じ取っていると考えている。
- 2 著者にとってエッセイを読むのは、研究書を読むよりも時間がかかる。
- 3 人の立場になることは、介護の現場で最も必要とされる。
- 4 音は形をもたない抽象的なもので、記憶に刻みとどめることは不可能だ。
- 5 スマートフォンで音楽を聴くことに慣れすぎて、生の音の感動を忘れていた。

II それぞれの問いに答えなさい。

問1 次の1～5の各文中の()で正しい漢字を選び、解答欄に記入しなさい。

- 1 人生は諸行(無上/無常/無情)だ。
- 2 生活費を(儉約/険約/検約)する。
- 3 新首相が(初心/初信/所信)表明演説を行った。
- 4 (有愁/有終/優秀)の美を飾る。
- 5 不良債権を(焼却/消却/償却)する。

問2 次の1～5の英語のことわざに相当する日本語のことわざをア～クから選び、符号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|-------------------------------------|---|--------------|---|-----------|
| 1 | When in Rome, do as the Romans do. | ア | 早起きは三文の徳 | カ | 百聞は一見にしかず |
| 2 | There is no royal road to learning. | イ | ローマは一日にしてならず | キ | 学問に王道なし |
| 3 | Seeing is believing. | ウ | 触らぬ神に祟りなし | ク | 一石二鳥 |
| 4 | The early bird catches the worm. | エ | 一を聞いて十を知る | | |
| 5 | A word is enough to the wise. | オ | 郷に入っては郷に従え | | |

問3 次の1〜5の伝統工芸、地場産業に関係の深い市町村をア〜オ、都道府県をa〜eから一つずつ選び、符号で答えなさい。

- 1 メガネフレーム
- 2 タオル
- 3 南部鉄器
- 4 西陣織
- 5 ジーンズ・デニム

ア 倉敷市 イ 盛岡市・奥州市 ウ 鯖江市 エ 今治市 オ 京都市
a 愛媛県 b 福井県 c 岡山県 d 京都府 e 岩手県

問4 次の1〜5の文を完成させるために、空欄に適切なものをa〜dから一つ選び、符号で答えなさい。

1 二〇二五年六月に公開された「 」を題材にした映画『国宝』は、公開から二ヶ月あまりで興行収入百億円を超える大ヒットとなった。実写の日本映画で興行収入が百億円を超えたのは二十二年ぶりのことである。

a 文楽 b 歌舞伎 c 日本舞踊 d 能楽

2 詩集『二十億光年の孤独』『みみをすます』や、アニメ『鉄腕アトム』主題歌の作詞などで知られる、戦後日本を代表する詩人の「 」が二〇二四年一月に死去した。

a やなせたかし b 大岡信 c 茨城のり子 d 谷川俊太郎

3 二〇二五年四月、大阪市の人工島「 」で「日本国際博覧会（大阪・関西万博）」が開幕した。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、さまざまな国の文化や最先端の技術、環境問題への取り組みなどが紹介された。

a 夢の島 b 六甲アイランド c 舞洲 d 夢洲

4 「モードの帝王」と呼ばれ、映画『アメリカン・ジゴロ』などの衣装も手がけた、イタリアの世界的ファッションデザイナーである「 」が、二〇二五年九月に死去した。

a ジョルジオ・アルマーニ b ジョン・ガリアーノ c ジャンニ・ヴェルサーチ
d イヴ・サンローラン

5 江戸時代中期に活躍した葛屋重三郎は、美人画で著名な喜多川歌麿や、役者絵で名を馳せた「 」を発掘し、浮世絵師として世に出した版元である。

a 葛飾北斎 b 菱川師宣 c 東洲斎写楽 d 歌川国芳

問5 次の1〜5の事柄を説明する文として「 」内に適切なことばや数字が選ばれているものに○、そうではないものに×をつけなさい。

1 二〇二五年、日本は第二次世界大戦の敗戦から「七十」年を迎えた。戦争を体験した人々の高齢化が進む中、当時の記憶を次の世代にどのように伝えていくかが社会的な課題となっている。

2 日本は、二〇二五年には「団塊の世代」と呼ばれる一九四七〜一九四九年生まれの約八百万人が七十五歳以上となり、国民のおよそ「三人に一人」が後期高齢者という超高齢化社会を迎えた。そのことにより引き起こされる医療、介護、経済などの問題を総称し「二〇二五年問題」と呼んでいる。

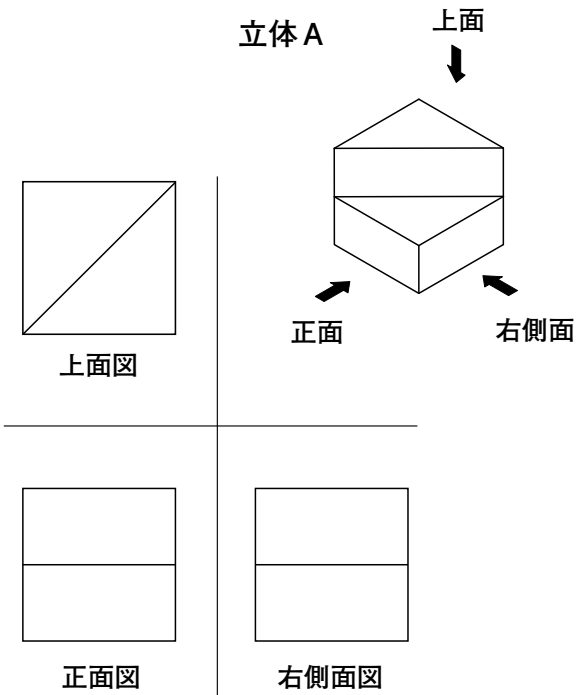
3 ドナルド・トランプを大統領とするアメリカは、二〇二五年七月、「ユネスコ」（国連教育科学文化機関）を脱退すると表明した。トランプ政権一期目の二〇一八年の脱退に続き、二度目の脱退表明である。

4 二〇二五年九月、国連人権理事会の調査委員会は、イスラエルがパレスチナ自治区ガザ地区で「ジェノサイド」（人種や民族、宗教など特定の集団を計画的に絶滅させようとする事）を行っているとする報告書を発表した。この報告書に対し、イスラエル側は強い反発を示した。

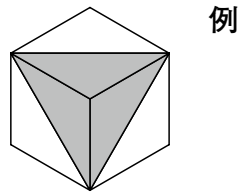
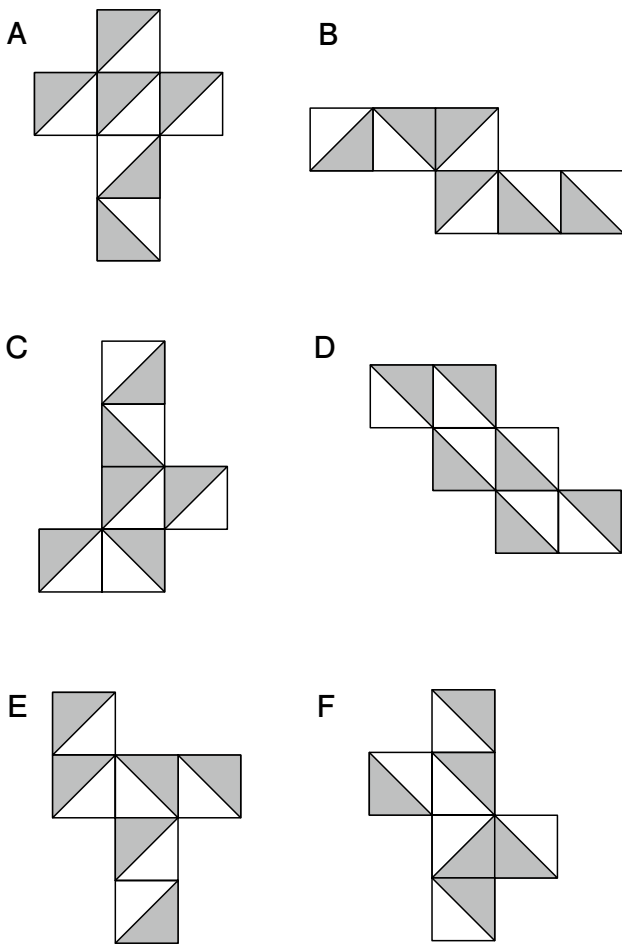
5 日本の気象庁は、一日の最高気温が「三十」度以上の日について、「猛暑日」という気象用語を定めている。猛暑日の増加は人の健康だけでなく、社会、経済、環境などさまざまな面に影響が及ぶため、気候変動や地球温暖化への対策が求められている。

III それぞれの問いに答えなさい。

問1 左の図は立体Aとその三面図です。これを参考に、立体Aの右側面にあたる面を正面とした場合の三面図に不足する線をフリーハンドで描き入れなさい。ただし、見えない部分の形状を表す線（隠れ線）を描く必要はありません。



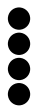
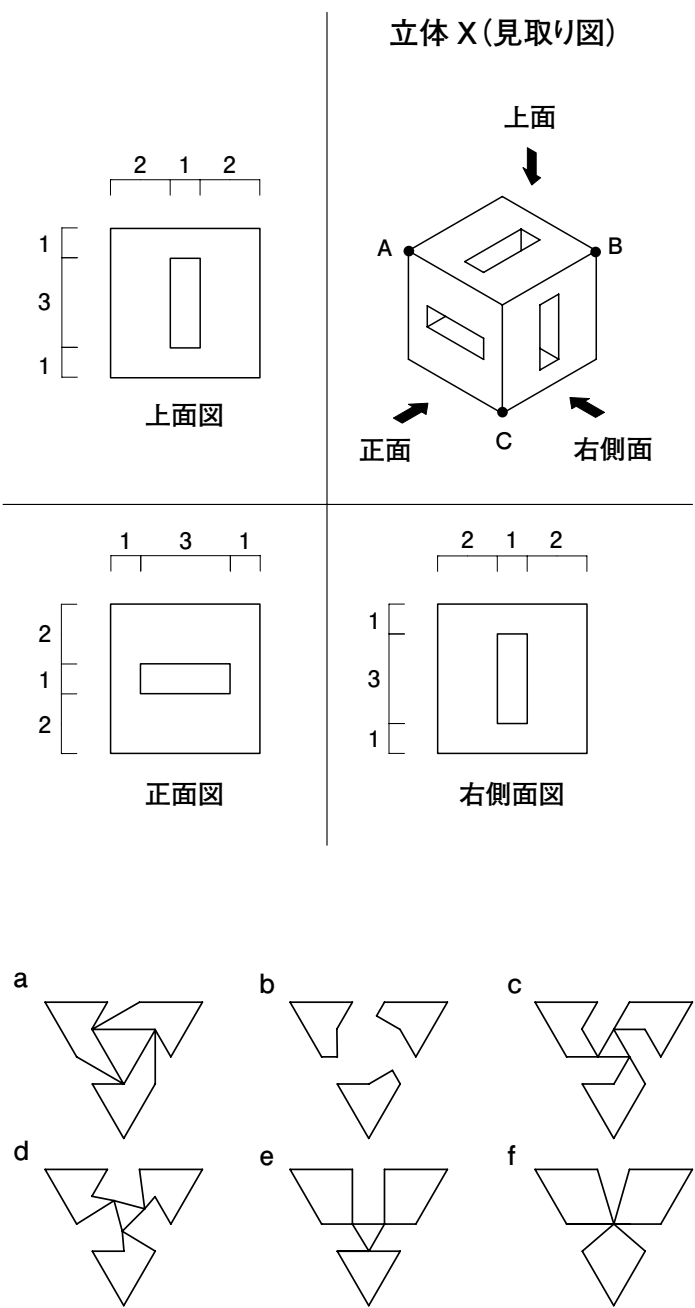
問2 左のA～Fは立方体の展開図です。立方体に組み立てたときに、例のように角に色づけされた三つの三角形が集まるものを四つ選び、符号で答えなさい。



角に色づけされた三つの三角形が集まる状態

問3 左の立体Xは、立方体の上面、正面、右側面から三面図に示す比率の長方形の穴を反対側の面まであけた形です。

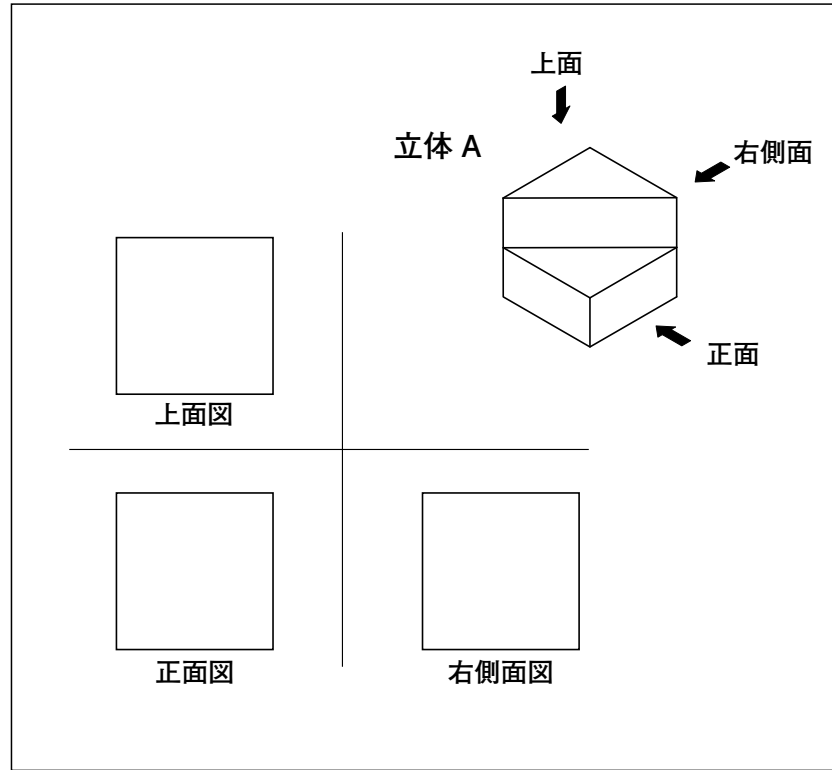
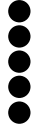
見取り図のABCの三点を通る平面で切断したときにできる断面図をa～fから一つ選び、符号で答えなさい。



※

※

※



問 1 III

1	問 4
2	
3	
4	
5	

1	問 5
2	
3	
4	
5	

1	問 3
市町村	
都道府県	
2	
市町村	
都道府県	
3	
市町村	
都道府県	
4	
市町村	
都道府県	
5	
市町村	
都道府県	

1	問 2
2	
3	
4	
5	

1	問 1 II
2	
3	
4	
5	

1	問 5
2	
3	
4	
5	

問 2

問 3

問 4

1	問 1 I
2	
3	
4	
5	

問 3

問 2

